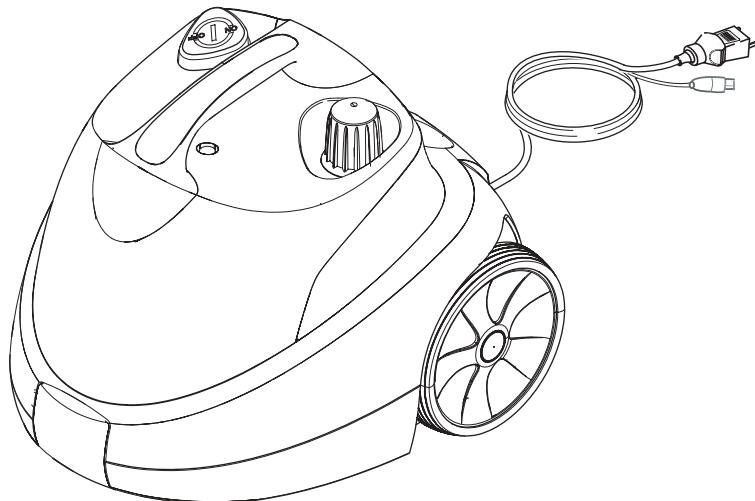




ケルヒャー家庭用スチームクリーナー

SC1200

取扱説明書



※この商品は組み立てが必要です。

※作動テスト後出荷されている為、水分が多少残っている場合がありますが、
製品の性能に問題はありません。

ケルヒャー商品をお買いあげいただき誠にありがとうございます。
お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
取扱説明書はいつでも取り出せる場所に大切に保管してください。

目次

1. 安全上のご注意	3～8
2. 標準装備品	9
3. 各部名称・機能	10～12
4. スケール除去剤について	13
5. 使用方法	14～20
1. ホース一体型ヘッドの取付け	14
2. 給水	15
3. 電源を入れる	16
4. 操作方法	17
5. アクセサリーの使用方法	17～19
6. 使用中にスチームが出にくくなった場合	20
6. 作業を中断、終了する場合	21～23
1. 作業を中断する場合	21
2. 作業を終了する場合	21～23
7. 故障かな？と思ったら	24
8. お手入れのしかた	25～27
1. 本体のお手入れ	25
2. ボイラーのすすぎ（使用5回毎）	25
3. スケール除去剤の使用（使用50回毎）	26
4. 安全バルブとOリング交換	26
5. アクセサリー接続口のOリングについて	27
6. 1000作業時間後の点検について	27
9. 保管方法	28
10. 仕様	29
11. アフターサービス・保証について	32
保証書	30～31

1. 安全上のご注意

◎ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示で注意事項を説明しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容」を示しています。



の記号は「気をつけてほしいこと（注意）」を示します。



の記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。



の記号は「必ず実行してほしいこと」を示します。



洗浄は自己責任において行なうこと

万一洗浄対象物に変色、変形、破損等が生じた場合、もしくは正しく操作をせずにヤケドやケガを負った場合、当社では一切の責任を負いません。

警告



スチームを人体に向けて使用しないこと
やけどの原因になります。



子供には触らせないこと
けがをする恐れがあります。



**延長コードは 15 アンペア仕様を使用し、10 m
以上延長しないこと**

規格以下の延長コードを使用した場合、製品や延長コード、屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。
15A 以上の規格のものを最長 10 m でご使用ください。



コードリールは完全に伸ばして使用すること

コードリールのコードを巻いたまま使用すると、コードリール、製品や延長コード、屋内配線の過熱につながり、火災に引き起こす恐れがあります。



タコあし配線はしないこと

複数の電気製品を同じコンセントで使用した場合、電源ケーブル、コンセントや屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。



アースは必ず接続すること

感電する恐れがあります。

水道管やガス管には絶対に接続しないでください。爆発や引火の恐れがあります。



ぬれた手で電源プラグを触らないこと

感電する恐れがあります。



本体、電源プラグに水をかけないこと

感電やショートする恐れがあります。



雨天時に屋外で使用したり、水を本体に直接かけたりしないこと

絶縁、劣化により感電やショートの恐れがあります。



修理はケルヒャー ジャパン家庭用修理センターで行うこと

個人の修理で生じたケガ、事故、不具合に関しては一切の責任を負いません。



警告



電源プラグは確実に差込むこと

コンセントに接続した際にゆるみ、ガタつきがある場合、製品や電源プラグ、屋内配線の加熱につながり、発火を引き起こす恐れがあります。



電源プラグが変形している場合は使用しないこと

電源プラグが変形していたり、電源プラグの歯が曲がっている場合は、製品や電源プラグ、屋内配線の過熱につながり、発火を引き起こす恐れがあります。



交流 100V 単相電源専用

異種電圧で作動させた場合、火災の恐れがあります。
ラベルに記載された電源でご使用ください。



コードを引っ張らないこと

引き抜くときは先端のプラグを持ってください。
コードが損傷すると、感電やショートを起こし火災を引き起こす恐れがあります。



スイッチを入れたまま電源プラグを抜かないこと

感電する恐れがあります。



常温水を使用すること

湯を入れた場合機器が正しく作動せず、やけどを負う場合があります。
必ず常温水を使用してください。

改造禁止



火災、感電、けがの原因になります。

ケルヒャー純正部品以外の、機械の性能や機能に適さない部品を取付けて使用しないでください。



汚染された可能性のある場所を洗浄する場合は

マスク等適切な防護具を身に着けること

汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。



火気のそばに置かないこと

本体が変形し故障や火災につながる恐れがあります。



異音、異臭、過熱時は直ちに使用を中止すること

本体の異常を感じたら直ちに使用を中止し、点検・修理を依頼してください。

警告



安全バルブは使用中触らないこと

絶対に使用中に安全バルブの上に手を当てたり、覗き込んだり、外したりしないでください。

ボイラーが故障した場合スチームを噴出する場合があります。



安全バルブを開ける場合は、十分冷めてから行なうこと

安全バルブは、本体が人肌以下まで冷却された後開けてください。
熱い状態で開けた場合湯が噴き出し、やけどの原因となります。



安全バルブのOリングを確認すること

電源を入れる前に確認をしてください。

Oリングに亀裂、割れなどがある場合は絶対に使用しないでください。



使用頻度の多いお客様へ

500 作業時間毎に定期点検を実施すること

例：1 日に合計 2 時間程度使用する場合

半年を目安に有償点検の実施が必要です。

点検を実施しない場合安全バルブからのスチーム吐出、ボイラーの加熱不良、過熱、スチーム吐出不良等のさまざまな不具合が生じ安全作業ができなくなります。点検を依頼してください。



故障時に安全バルブが作動することがあります

スチームクリーナーには安全装置としてボイラー圧力が高くなるのを防ぐための圧力逃がし弁が安全バルブに組込まれています。

万一の故障時や定期メンテナンス不備によるボイラー内部へのスケール付着等によりボイラー内部の圧力が異常に高くなった場合に安全バルブの圧力逃がし弁が作動し蒸気を勢いよく上方に吹き上げます。

絶対に安全バルブの上で作業を行ったり、近づいたり、覗き込んだりしないでください。火傷の恐れがあります。



作業場所から離れる場合はスイッチを切ること

使用方法を知らない方が操作された場合、ケガをする恐れがあります。

注意



アクセサリーは確実に取付けること

確実にロックされていない場合スチームが漏れ、やけどの原因となります。



アクセサリー接続口のOリングが装着されていない、もしくは損傷している場合には使用しないこと
スチームが漏れてやけどの原因となります。



クロスクリップに指を差込まないこと

クロス脱落防止のためクリップは鋭くなっています。
指を差込まないでください。



本体を倒したり、立てた状態で使用したり保管はしないこと

ボイラーが損傷する場合があります。



手袋等保護具を着用すること

作業時は手などに直接スチームがかかる場合や、汚れがはね返る場合があります。

やけどやケガ防止のため適切な保護具を身に着けてください。



ガラス製品に傷がある場合は洗浄しないこと

割れる場合があります。

ガラス製品、窓ガラス、鏡の掃除には注意すること

● 2秒以上同じ場所にスチームをあてないでください。

● ワイヤー入ガラス、厚板ガラスの掃除は特にご注意ください。

ガラスの膨張率の違いにより割れる場合があり、ケガをする恐れがあります。



洗浄前に材質を確認すること

洗浄の前に必ず洗浄物の材質をご確認ください。

スチームは100°C近い温度で出ます。

洗浄部分の材質によっては変色・変形など洗浄物を傷める恐れがあります。目立たない部分で試してください。



レバーロックをかけること

アクセサリーの着脱はレバーをロックした状態で行ってください。

ロックされていない場合スチームレバーに誤って触れスチームが噴出しやけどを負う場合があります。



注意



水以外の液体は使用しないこと

溶剤（シンナーなど）、油（ガソリン、灯油など）アルカリイオン水、酸性水などを使用しないでください。使用した場合本体が壊れる場合があります。水道水のみで使用してください。



洗剤や薬品を入れないこと

洗剤や薬品を入れた場合、ボイラーの破損、薬品火傷、健康に悪影響を及ぼす場合があります。

水道水のみでご使用ください。



本機は使用50時間毎にスケール除去を行うこと

スケール（湯垢）がたまると故障の原因となり、安全弁が作動する場合があります。

必ず純正スケール除去剤を用い定期的にスケールの除去を行ってください。



水を排水、補給する場合は冷却後に行うこと

必ず本体が人肌以下に冷却された後安全バルブを外し排水、補給を行ってください。

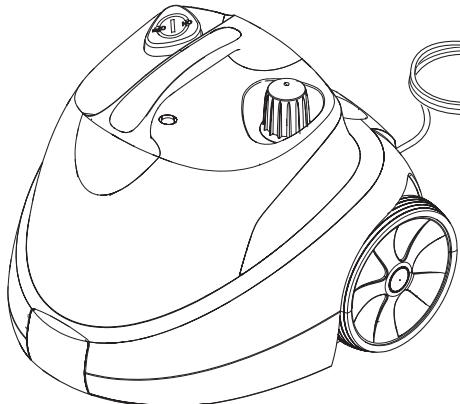
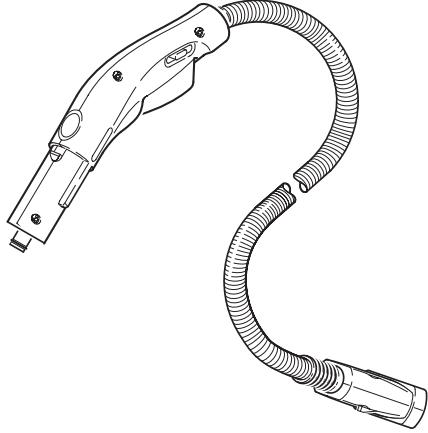
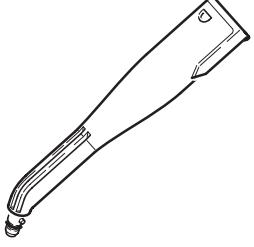
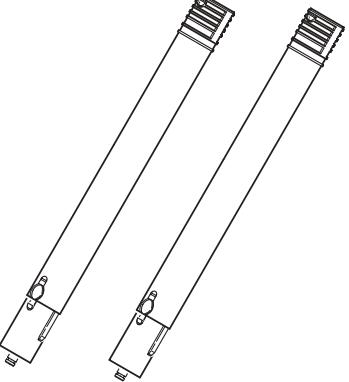
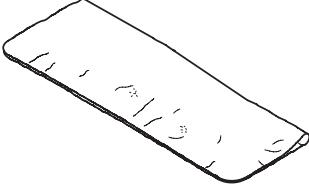
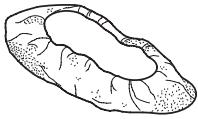
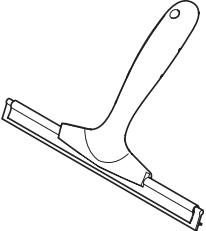
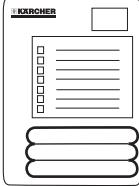


凍結する場所には保管しないこと

凍結した場合、ボイラーが故障します。

2. 標準装備品

※ご使用になる前にすべての標準装備品が揃っていることをご確認ください。

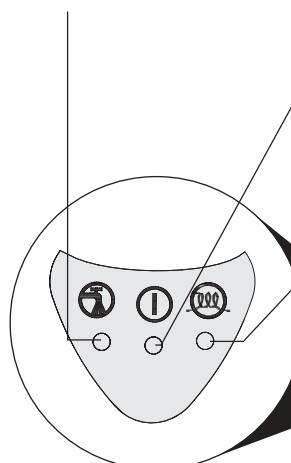
	
本体 1式	ホース一体型ヘッド 1式
	
ノズルヘッド 1個	ブラシ 2個
	
フロアブラシ 1個	延長パイプ 2本
	
クロス 1個	アクセサリーフック 1個
	
ハンドブラシ 1個	カバー 1個
	
窓用スクイジー 1個	スケール除去剤 (3本入)

※仕様変更等により形状がイラストと異なる場合があります。

3. 各部名称・機能

本体

ボイラー警告灯（赤）
ボイラーの水が少なくなると点灯します。スチームが出なくなった場合は本体が人肌以下に冷めた後安全バルブを開け水の補給を行なってください。



電源ランプ（緑）
電源を入れている場合に点灯します。

ヒーターランプ（オレンジ）
スイッチを押すと点灯し、加熱が完了すると消灯します。スチーム吐出中はボイラー温度が下がり、自動的に加熱が始まりヒーターランプが点灯します。ボイラーアルバートが規定値に達するとヒーターランプが消灯します。

スイッチ

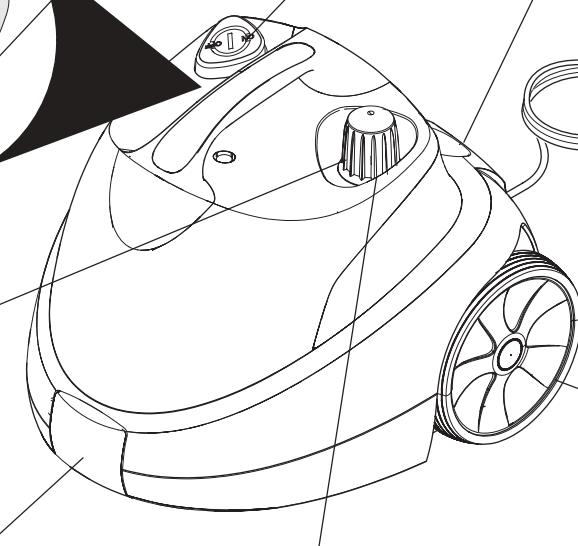
アクセサリーホルダー
アクセサリーを収納できます。

電源プラグ

アース

電源ケーブル

給水口
安全バルブを外し、水を入れます。



ホイール

ホース接続口（カバー付）
ホース一体型ヘッドを接続します。

安全バルブ

火傷の危険性があるため使用中は手を触れないでください。
ボイラーが加熱されると空回りをし開ける事は出来ません。冷却が不十分な状態で安全バルブを開ると、湯が吹き出る場合があります。

アクセサリーロック

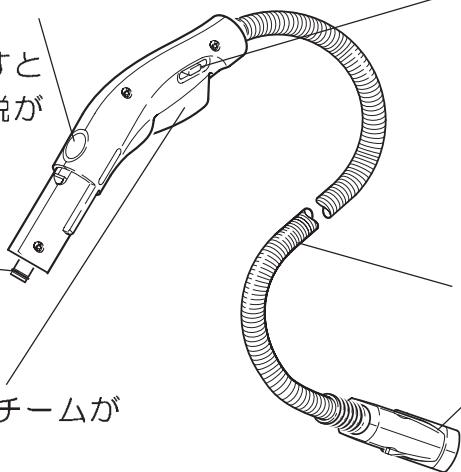
ボタン

ロックボタンを押すと
アクセサリーの着脱が
できます。

○リング

スチームレバー

レバーを握るとスチームが
吐出します。



スチームレバーロック

前方にスライドさせるとロックがかかり、レバーを握れない状態になります。後ろ側にスライドさせるとロックが解除されます。

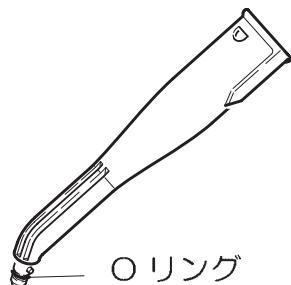
スチームホース

本体接続口

ホース一体型ヘッド

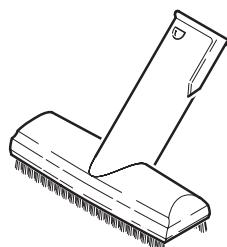
ヘッド先端にアクセサリーを取り付けて使用します。

アクセサリーを取り付けない状態でもご使用いただけます。



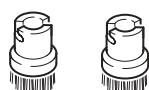
ノズルヘッド

先端にブラシを取り付けることができます。
(ブラシを取り付けない状態でも使用でき
ます。)



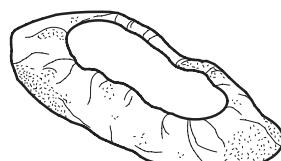
ハンドブラシ

カバーを付けて汚れを拭い取ります。
カバーを取り付けない状態でブラシでこ
する事もできます。



ブラシ

ノズルヘッドに取付け、ブラシの毛が広
がらない程度の力でご使用ください。

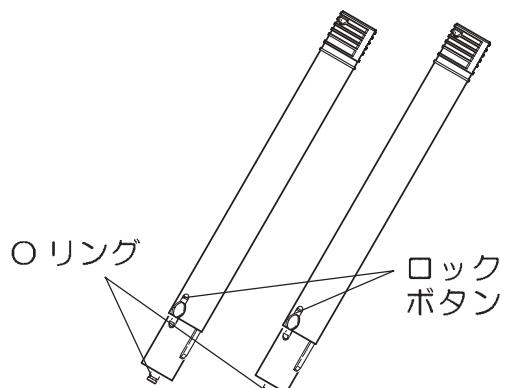


カバー

ハンドブラシに取付けて使用します。

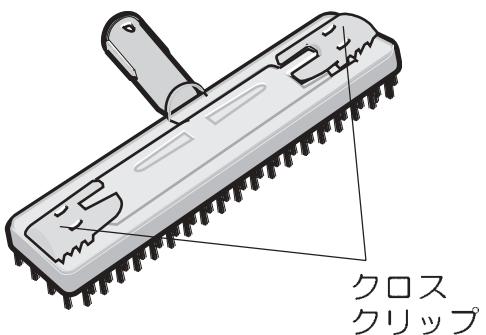


注意 アクセサリー接続口の○リングが装着されていない場合には使用
しないこと。スチームが漏れてヤケドの原因となります。



延長パイプ

フロアブラシを取付けて床の掃除、あるいは手の届かない場所の掃除にご使用ください。



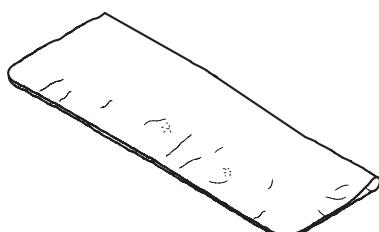
フロアブラシ

クロスを取り付け、汚れを拭い取ります。クロスをつけない状態でブラシでこする事もできます。



アクセサリーフック

延長パイプに取付けると、アクセサリー ホルダーに掛けることができます。

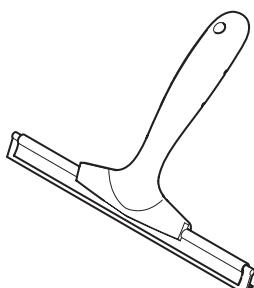


クロス

フロアノズルに取付けてご使用ください。

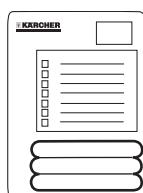
取付け方法

アクセサリーフックのロックボタンを押しながら、手前から2番目の溝に取り付けます。ロックボタンを離すと固定されます。



窓用スクイジー

スクイジーのゴムベラ部をガラスに密着させ、水分を拭い取ります。
(このアクセサリーをホース一体型ヘッドに取付けることはできません。)



スケール除去剤（3本入り）

ボイラにたまつたスケール（湯あか）を取除きます。

4. スケール除去剤について

名称	スケール除去剤
用途	スチームクリーナーのスケール除去用
成分	スルファミン酸、マレイン酸、L酒石酸
液性	強酸性
内容量	3本

使用上の注意



- 警告**
- 吸入飲用不可：人体に害があるので飲まない、吸引しないこと
 - 皮膚の弱い人はかぶれる恐れがあるので、保護手袋を使用すること
 - 子供の手の届かない所に保管すること



- 注意**
- 用途以外には使用しないこと
 - 使用方法およびスチームクリーナーの取り扱い説明書を良く読んで使用すること
 - 湿度、凍結を避け、冷暗所に保管すること

応急処置

- 飲み込んだ場合は、口の中をすすいで下さい。直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った場合は流水で15分以上目を洗って下さい。症状がある場合は医師の診断を受けて下さい。
- 皮膚に付いた場合は洗い流して下さい。大量の水と石鹼で洗い流して下さい。
- 吸いこんだ場合は新鮮な空気を送り、体を休ませて下さい。

保管および廃棄方法

- 湿度、直射日光や高温、凍結を避けて保管して下さい。

ケルヒャージャパ㈱ 宮城県黒川郡大和町松阪平3-2
TEL: 022-344-3140

包装 プラ：カバー、PVC
紙：台紙

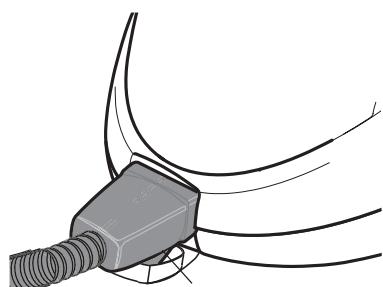
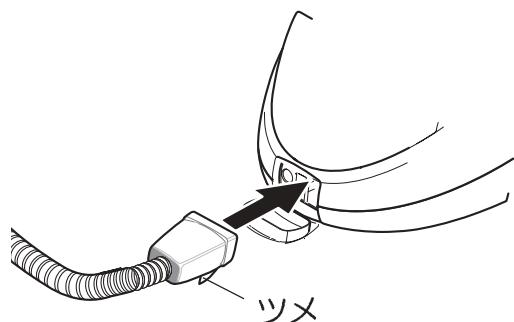
5. 使用方法

1 ホース一体型ヘッドの取付け



電源を入れる前に必ずホース一体型ヘッドを本体に接続すること。電源を入れると接続しにくくなります。

①本体のホース接続口のカバーを開け、ホース一体型ヘッド接続部の爪のある面を下向きにし、本体に接続してください。



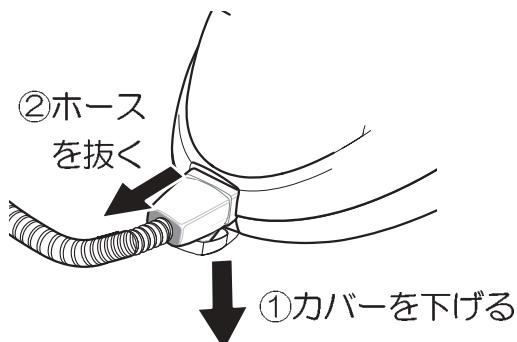
正しい取付け方

プラグの爪がカバーに掛かるまで差込みます。爪がカバーに掛かると「カチ」と音がします。

奥までしっかりと差込まないと、スチームレバーを握ってもスチームが出ません。

取り外し方

ホース接続口のカバーを下げるとロックが解除されホースを抜くことができます。



②スチームレバーがロックされていることを確認してください。



2 給水



注意

■常温水を使用すること

湯を入れた場合火傷を生じる場合があります。

安全上必ず常温水を使用してください。

■水以外のものは絶対に使用しないこと

洗剤、薬品等を使用した場合、健康に悪影響を及ぼす場合があります。

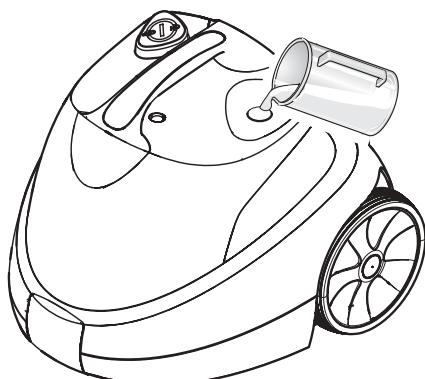
水のみでご使用ください。

■安全バルブのOリングを確認すること

給水毎に確認をしてください。

Oリングに亀裂、割れ等がある場合は絶対に使用しないでください。

①安全バルブを取り外し、水（30°C以下）を最大1.6リットルまでゆっくりと補給してください。

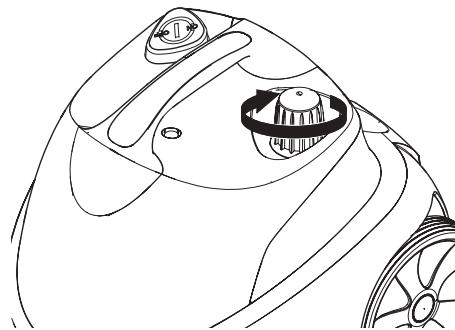


お知らせ

最低使用給水量：0.5リットル

最大使用給水量：1.6リットル

②安全バルブを取り付けてください。
安全バルブのOリングに異常がないことを確認し、安全バルブをしっかりと閉めてください。



注ぎ口の水はタオル等で拭い取ってください。
水が注ぎ口に残っている場合、加熱を始めた際に蒸気となりスチーミ漏れと間違う場合があります。

お知らせ

加熱を始めると安全バルブは空回りして開けることができません。

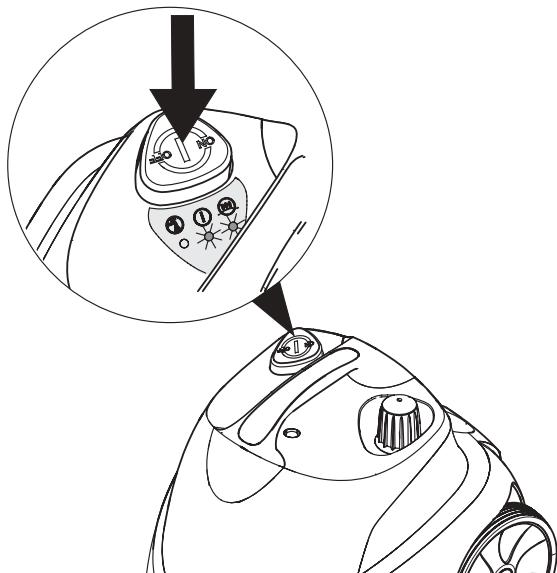
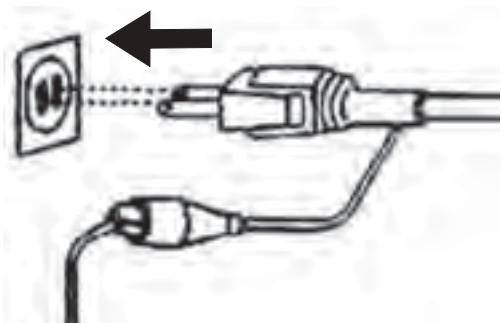
本体が人肌以下に冷めると再び開けることができます。

3 電源を入れる



電源を入れる前に、本体にホース一体型ヘッドを取り付け、ボイラー内に水を入れてください。

- ①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
アースは必ず接続すること



- ③ヒーターランプ（オレンジ）が消灯したら（約10分後）、使用を開始することができます。
※加熱時間は水温により異なります。



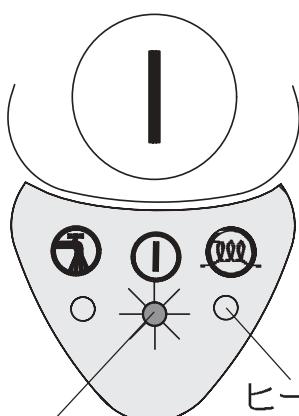
注意

アースは、水道管やガス管には接続しないこと
爆発や引火の危険があります。

- ②スイッチを押し、電源を入れてください。

お知らせ

スイッチを押すと、電源ランプ（緑）とヒーターランプ（オレンジ）が点灯します。



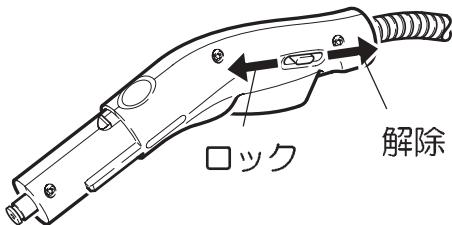
電源ランプ（緑） ヒーターランプ（オレンジ）

お知らせ

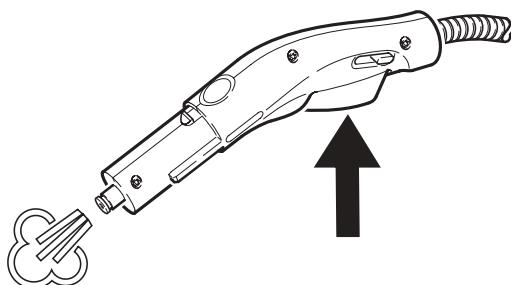
ヒーターランプは自動でオン⇨オフを繰り返します。

4 操作方法

- ①スチームレバーロックを後方にスライドさせ、ロックを解除します。



- ②スチームレバーを握ると、スチームを出すことができます。



! 注意

作業を中断した場合（約1分間以上）再び洗浄作業を行う前に、必ず布などに向けてホース内の湯を出し、スチームが出るのを確認してから洗浄を行なうこと

作業を中断（約1分間以上）した場合、スチームホース内に湯がたまり、再度使用する際にノズルから噴き出る場合があります。

! 注意

本体を倒したり、立てた状態で使用しないこと
ボイラーが損傷する場合があります

5 アクセサリーの使用方法

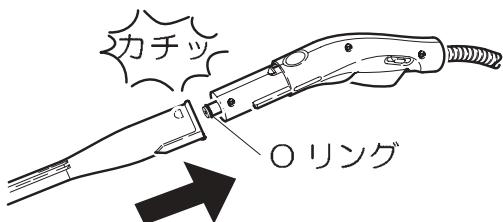
! 注意

- アクセサリー接続口のOリングが装着されていない、もしくは損傷している場合には使用しないこと
スチームが漏れてヤケドの原因となります。
- アクセサリーを着脱する際には、必ずスチームレバーをロックすること

- ①ノズルヘッド、ハンドブラシ、延長パイプ、フロアブラシの取付け

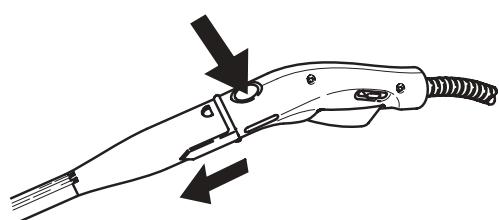
取付け方法

カチッと音がするまで差込みます。
※取付けがきつい場合は、接続部分のOリングに水をつけるとスムーズになります。



取外し方法

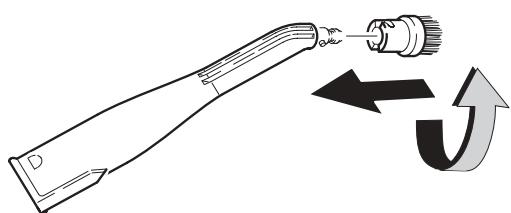
アクセサリーロックボタンを押しながら引き抜きます。



②ブラシの取付け

取付け方法

ノズルヘッド先端部の爪とブラシの刻みを合わせて差込み、時計回りに回して固定します。

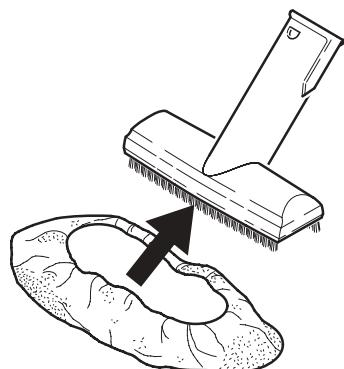


取外し方法

ブラシを反時計回りに回し、引き抜いてください。

③カバーの取付け

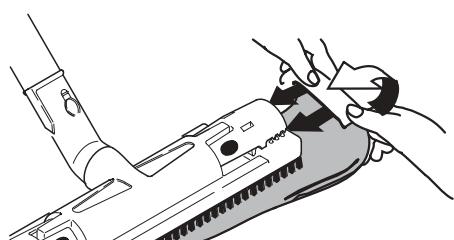
ハンドブラシに被せて使用します。



④クロスの取付け

取付け方法

クロスの上にフロアブラシを置き、端を折り上げます。
クロスの折った部分をクロスクリップに挟みます。



取外し方法

クロスクリップを押して開き、クロスを抜き取ります。



注意

クロスクリップに指を差し込まない
様に注意すること
クロスクリップ部分は、クロスが脱落
しないように鋭くなっています。

用 途	アクセサリー	洗浄のポイント
部分的に掃除したい しみ / カーペットの起毛 (家具の跡をとる)	ノズルヘッドのみ	しみや汚れのすぐ横に布を置き、斜めに(布の方向に)スチームを噴射し、汚れを布に吹き飛ばします。
凸凹のある場所を掃除したい サッシ、レールの汚れ / タイル目地のカビ	ノズルヘッド + ブラシ	ブラシに洗剤を少し付けるとより効果的です。洗浄後、汚れや水分を拭き取ってください。
油汚れを落としたい キッチンの油汚れ / オーブンの汚れ / 換気扇 / エンジンルーム	ノズルヘッド + ブラシ + タオル	初めにタオルで汚れを拭う。力を加えすぎない。スチームを出しながら汚れを擦って浮き上がらせる。洗剤をブラシに付けて洗うとより効果的です。ブラシにタオルを巻きつけて使用すると、洗浄対象物を傷めません。
広い面を洗浄したい フローリング / 樹脂製の床 / 石材の床 / カーペットタイル / 畳	延長パイプ(2本) + フロアブラシ + クロス	フロアブラシにクロスを取り付け、汚れをスチームで浮かせてクロスで拭き取ります。
窓や鏡を掃除したい	ハンドブラシ + 窓用スクリュー	ハンドブラシにカバーを取り付けない状態で約10cmぐらい離し、スチームをガラス表面に均一に当てる。窓用スクリューのゴムベラ部をガラスに密着させ、水分を拭い取ります。寒い季節には予備加熱(20cm離した状態で全体を暖める)を行ってください。

詳しくは同梱の「ユーザーガイド」をご覧ください。

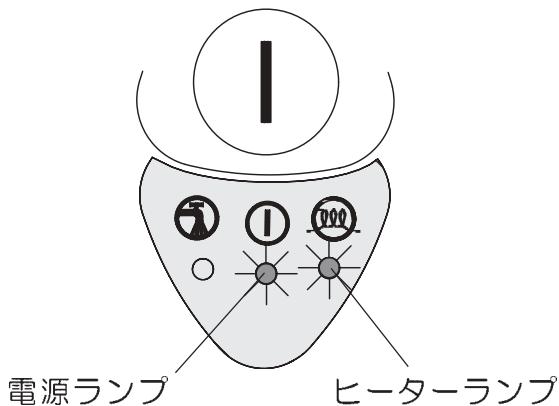


注意

スチームの温度は噴き出し口で約100°Cです。材質や耐熱温度によっては使用できない場合があります。予め目立たないところでお試しください。

6 使用中にスチームが出にくくなった場合

- ヒーターランプ（オレンジ）が点灯している場合



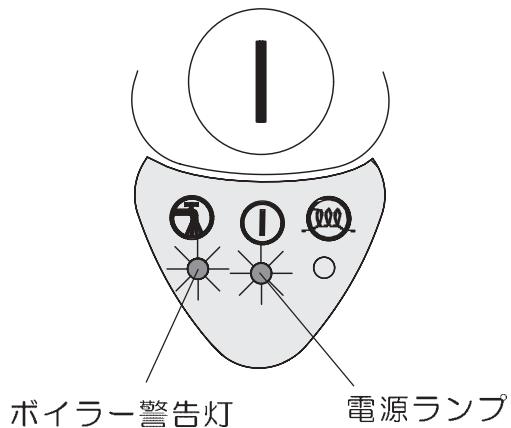
連続使用でボイラー温度が下がっています。
電源を入れたまま1～2分作業を中断した後使用を再開してください。

ボイラーの水がなくなりました。
速やかにスイッチを押し、電源を切ってください。
作業を継続する場合は、本体が人肌以下に冷めるまで放置した後、給水をしてください。

⚠ 注意

給水は冷却（約1時間以上放置）後に行うこと
安全バルブを取り外す際には、本体が人肌以下に冷めた後に行ってください。
(約1時間以上放置する)
本体が熱い状態で安全バルブを取り外した場合、湯が吹き出し、やけどをする恐れがあります。

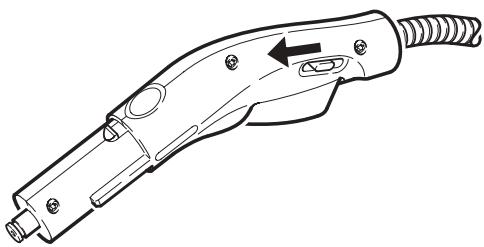
- ボイラー警告等（赤）が点灯している場合



6. 作業を中断、終了する場合

1 作業を中断する場合

スチームレバーを前方にスライドさせ、ロックしてください。

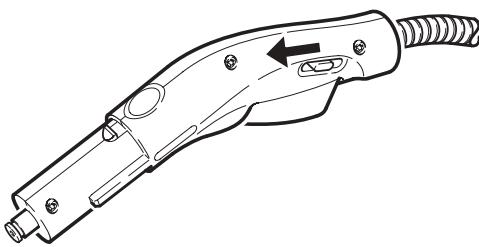


注意

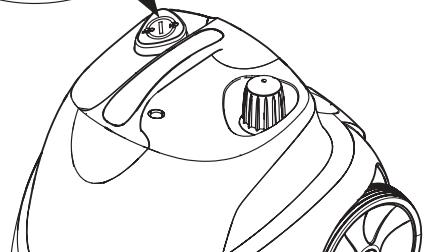
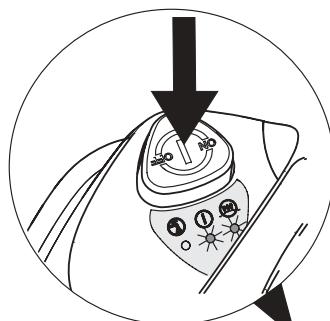
作業を中断した場合（約1分間以上）再び洗浄作業を行う前に、必ず布などに向けてホース内の湯を出し、スチームが出るのを確認してから洗浄を行なうこと
作業を中断（約1分間以上）した場合、スチームホース内に湯がたまり、再度使用する際にノズルから噴き出る場合があります。

2 作業を終了する場合

①スチームレバーを前方にスライドさせ、ロックしてください。

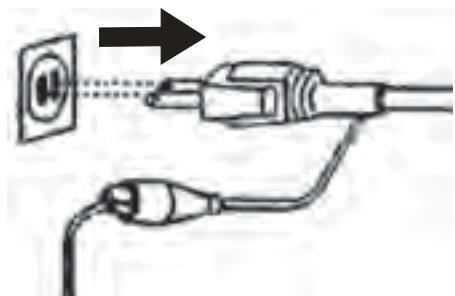


②スイッチを押し、電源を切ってください。

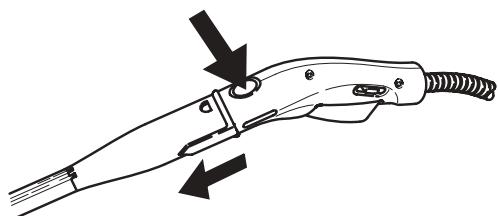


スイッチを切った後、全てのランプが消えていることを確認してください。

③電源プラグを持ち、コンセントから抜いてください。



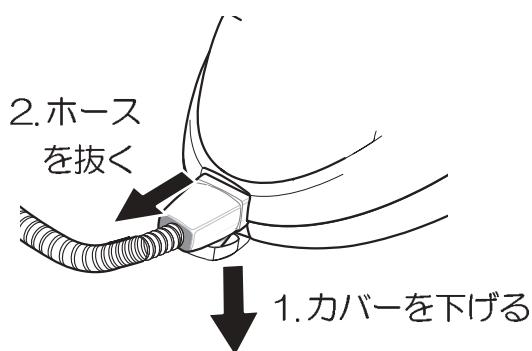
④接続していたアクセサリーを取外してください。



取外し方法

アクセサリーロックボタンを押しながら引き抜きます。

⑤本体が冷めてからホース一体型ヘッドを取り外してください。



取外し方法

ホース接続口のカバーを下げるごとにロックが解除されホースを抜くことができます。

! 注意

ホース一体型ヘッドは、本体が冷めてから取外すこと

⑥本体が人肌以下に冷却された後、ボイラーに残った水を捨ててください。
(ボイラーが冷却されるには、約1
～4時間程度かかります)

排水方法

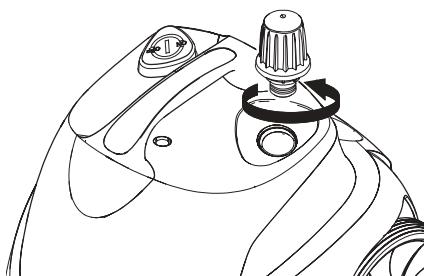
安全バルブを取り外し、取っ手を持ってゆっくり機械を傾け、ボイラーに残った水を捨ててください。

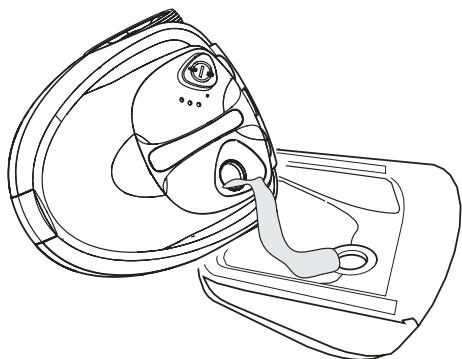
※水がこぼれないように注意してください。

※本体力バーの端などでケガをしないように十分ご注意ください。

! 注意

安全バルブは本体が人肌以下に冷却されてから取外すこと
本体が熱い状態で安全バルブを取り外した場合、蒸気が噴出しやけどをする恐れがあります。





お知らせ

作業直後はボイラー内が高温高圧のため安全バルブは空回りして開けることが出来ません。

約1～4時間程度おいても安全バルブが外れない場合には、一日おいてから取外してください。



ボイラー内に残った水は、使用後毎回捨ててください。

7. 故障かな？と思ったら

このようなとき	原 因	対 策
スチームが出ない	電源プラグが抜けている	電源プラグをコンセントに しっかり差し込む
	スイッチが入っていない	スイッチを押し、ヒーター ランプ（オレンジ）の点灯 を確認する
	水が不足している ボイラー警告灯（赤）が点灯 している	本体が人肌に冷めるのを待 って、給水を行なう
	細い延長コードを使用して いる	15A仕様のコードを使用 する。最長 10m
	ホース一体型ヘッドが奥まで 完全に接続されていない	ホースを奥までしっかり差 し込み直す
スチームが弱くなる	連続使用でボイラー温度が 低下している	1～2分作業を中断しヒー ターランプ（オレンジ）が 消えるまで待つ
スチームが出るまで に時間がかかりすぎる	ボイラー内にスケール (湯垢) がこびりついている	ボイラー内のすすぎを行う かメンテナンスを依頼する
ホース一体型ヘッド を本体に接続できな い	電源が入っている	電源を切った状態で接続す る
	○リングのすべりがわるい	ホース一体型ヘッド接続部 の○リングに軽く水を塗る
安全バルブが空回り して外れない	本体が十分に冷めていない	本体を1～4時間程度冷ま し、それでも外れない場合 には一日おいてから取外し てください

8. お手入れのしかた

⚠ 注意

- お手入れをする場合には必ず機械が冷めた状態で行うこと
- スイッチを切り、電源プラグを取り外した状態で行うこと

1 本体のお手入れ

ぬるま湯か中性洗剤を浸した柔らかい布を固く絞って拭き取ってください。

使用したカバー（ハンドブラシ用）やクロス（フロアブラシ用）は、中性洗剤で洗い、乾かしてください。

2 ボイラーのすすぎ (使用 5 回毎)

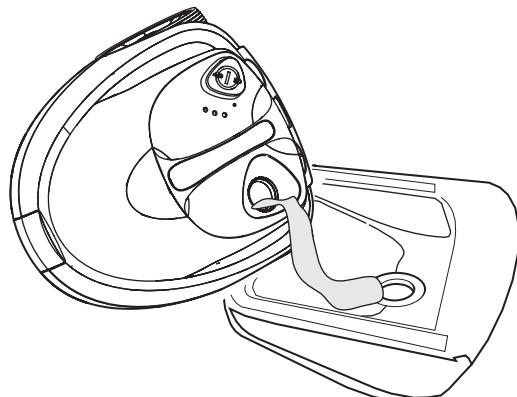
スケールの付着を予防するために、ボイラーをすすいでください。

お知らせ

すすぎの目安：使用 5 回毎
使用を重ねていくとボイラー内部にスケール（湯あか）が付着し、温度が上がりにくくなります。また、スケールの付着は、故障の原因にもなります。
定期的なお手入れでスケールの付着を防ぎ、安全にご使用ください。

すすぎ方

- ①スイッチを切って電源プラグをコンセントから抜き、本体を人肌以下に冷やしてください。
 - ②安全バルブを外し、ボイラーに残っている水を全て捨ててください。
 - ③ボイラーに水を入れ本体をよく振り、その後水を捨ててください。
この動作を 3 回繰り返してください。
すすぎが不十分な場合故障の原因となります。
- ※水がこぼれないように注意してください。
※本体力バーの端などでケガをしないよう十分ご注意ください。



3 スケール除去剤の使用 (使用 50 回毎)

使用 50 回毎にボイラーのスケール（湯あか）をスケール除去剤で取り除いてください。

お知らせ

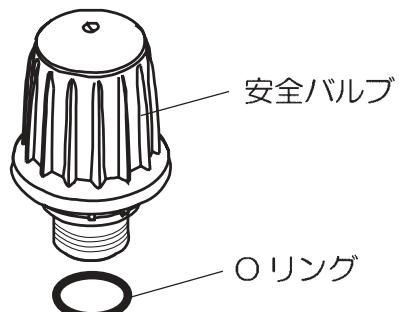
- 安全バルブのスケール除去は出来ません。
- 蒸留水を使用した場合は、スケールは付着しません。

【スティックタイプの使用方法】

- ①ボイラー内をすすいでください。
- ②スケール除去剤を 3 本ボイラーに入れてください。
- ③ぬるま湯でボイラーを満たしてください。
- ④安全バルブを外した状態で約 8 時間放置してください。
- ⑤8 時間後ボイラーの水を捨て、清水で 3 回以上すすいでください。
すすぎが不十分な場合故障の原因となります。
※ 水がこぼれないように注意してください。
※ 本体カバーの端などでケガをしないよう十分ご注意ください。
- ⑥安全バルブを締めてください。
- ⑦室内に保管してください。

4 安全バルブと O リング 交換

安全バルブと O リングは消耗品です。商品を安全ご使用頂くために以下の頻度で交換を行ってください。



安全バルブ

(注文番号 : 4.590-100)
約 500 作業時間毎
(約 500 回使用毎)

O リング

(注文番号 : 6.363-468)
約 200 作業時間毎
(約 200 回使用毎)



注意

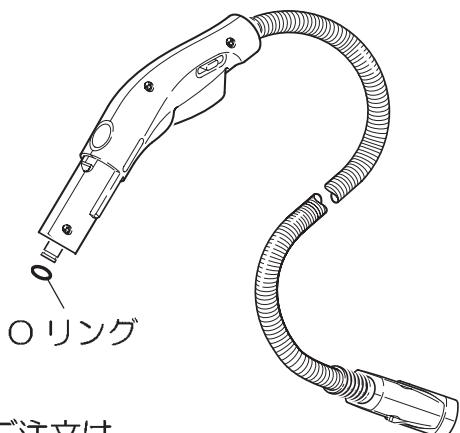
安全バルブ、O リングが損傷するとスチーム漏れが発生する恐れがあります。規定時間以内でも損傷がある場合は交換してください。

■ご注文は

お買い求めの販売店、あるいはケルヒャーカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

5 アクセサリー接続口の ○リングについて

アクセサリー（ホース一体型ヘッド・ノズルヘッド・延長パイプ）接続口の○リングが装着されていない、もしくは損傷している場合、新しい○リングを装着してください。



■ご注文は
お買い求めの販売店、あるいはケルヒ
ヤーカスタマーサービスセンターまで
お問い合わせください。

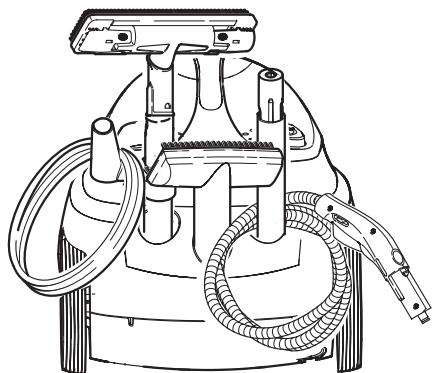
6 1000 作業時間後の点検 について

本機の耐用時間は、約 1000 作業時
間（約 1000 回使用）です。
安全に商品を使用していただくために、
作業時間の累積が 1000 作業時間を越
えた場合はケルヒャーサービスエンジ
ニアによる点検を受けてください。
有料点検を受ける際は、ケルヒャーカ
スタマーサービスセンター（27 ペー
ジ参照）までご連絡ください。

※作業時間とは、保温状態の累積時間
です。

9. 保管方法

アクセサリーホルダーにアクセサリーを収納した後保管をしてください。



注意

- 保管前に必ずお手入れをすること
- タンクの水を抜いた状態で保管すること
- 安全バルブを閉めた状態で保管すること
- 屋内のほこりのかからない、凍結しない場所に保管すること
凍結した場合には、自然に解凍をしてください。
- 本体を倒したり、立てた状態で保管しないこと
ボイラーが損傷する場合があります

10. 仕様

電源	100V 50/60Hz共用
ヒーター出力	1500ワット
スチーム吐出圧力	0.32 MPa (※1)
安全弁作動圧力	0.57 MPa (※1)
ボイラーアップ温度	139 °C
ボイラータンク容量	1.6 リットル
ヒートアップタイム（加熱時間）	約 10 分 (※2)
寸法（長さ×幅×高さ）	385 × 340 × 315 mm
質量（本体のみ）	4.9 kg
定格連続使用時間	1 時間
交換時間（※3）	
安全バルブ	500 時間 (約 500 回使用)
安全バルブ用 O-リング	200 時間 (約 200 回使用)
本体寿命（※3）	1000 時間 (約 1000 回使用)

※1 1 MPa = 10.2 kg f / cm²

※2 水温 20°C の際の仕様です。

※3 保温状態での累積時間

保証書

お買い上げいただいた製品に万一不具合が生じた場合には、この保証規定に従い補償いたします。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■保証の内容

お買い上げいただきました製品を構成する部品に材料または製造上の不具合がおきた場合、これを無料修理いたします。（この無料修理を保証修理といいます。）
保証修理は部品の交換あるいは補修によりおこないます。
また、取外した不具合部品はケルヒャー所有となります。

■保証期間

保証修理を受けられる期間は新品を購入した日から 1 年間とします。

■保証できない事項

●修理の際の輸送費用

●次に示すものに起因すると判定される故障は保証修理いたしません。

- ・取扱説明書の指示に反する使用
- ・保守整備の不備または間違い（日常、定期点検をしていない場合）
- ・ケルヒャーが提示している仕様の限界を超える使用
(規定以上の長さの延長コードを使用した場合の電圧降下、凍結させた場合の損傷、ホースのパンク等、業務等で定格使用時間を著しく超えた連続使用など)

・ケルヒャーが認めていない改造

・純正部品及び指定する油脂類以外の使用

・ご使用者の不注意による故障（ボイラー内への異物混入、落下による故障等）

・推奨交換部品を交換していない場合

●次に示すものは保証修理いたしません。

・消耗品

(油脂、ノズル、安全バルブ、O-リング、パッキン、バルブ、ホース、ブラシ、パット、クロス、

及びこれらに類する消耗品)

・経年変化により発生した不具合

(塗装、プラスチックの自然退色、ホースのひび割れ、安全バルブ、電装部品等)

・使用に際し品質、機能上影響の無い感覚的現象

(音、振動、微量な水漏れ等)

・台風、水害、雪害などの天災による故障

・薬品、塩害などに起因する不具合

・水質等に起因するつまり、劣化

●次に示すものの費用は負担いたしません。

・点検、清掃、調整、定期点検整備、交換部品、出張にかかる費用

・この保証書に示す条件以外の費用補修など

・本機を使用できなかったことによる不便さ及び損失など（休業損失、商業損失など）

・洗浄対象物に損傷、破損、変色などが生じた場合の補修費用

・正しく操作をせずにケガを負った場合

■保証の適用

この保証は日本国内で使用される弊社商品のみに適用いたします。
海外へ持ち出す場合は、その時点で保証が抹消されます。

■保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、下記保証書の各項目にご記入いただき、お買い上げいただいた際のレシート／納品書を添付の上、保証修理をおしつけください。製造番号は、商品の裏側もしくは後部に貼られている銀色のラベルに記載されています。

■保証修理の申し込み方法

ご購入の際に受領されたレシートあるいは納品書と下記保証書を添付の上、お買い上げいただいた販売店にお持ちいただくか、または下記ケルヒャージャパン株式会社までお送りください。

ご不明な点がございましたら

ケルヒャーカスタマーサービスセンター（0120-60-3140）までご連絡ください。

お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

SC 1200		製造番号：		
保証期間： 1 年		お買い上げ日	年	月 日
お客様	お名前：			
	住所：	電話：() -		
販売元	販売元名称：			
	住所：			
故障状況：				



ケルヒャー ジャパン株式会社

本 社：宮城県黒川郡大和町松坂平3丁目2番 TEL:(022) 344-3140

ケルヒャーホームページアドレス <http://www.karcher.co.jp>

11. アフターサービス・保証について

1. 保証書が30~31^{ページ}に添付されています。大切に保管してください。
2. 保証書の保証内容、保証規定をよくお読みください。
3. 保証書は、お買い上げ販売店で必要事項を記入したものをお受け取りください。
4. 保証期間は保証書に記載されています。
5. 保証期間終了後の修理につきましては販売店もしくは下記ケルヒャーカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

製品に関するお問合せ

ケルヒャー カスタマーサービスセンター
0120-60-3140

受付日：月曜日～金曜日（祝日、当社休日を除く）

受付時間：午前9時～12時、午後1時～5時

修理品送り先

〒981-3408 宮城県黒川郡大和町松坂平3-2

ケルヒヤージャパン株式会社
家庭用製品修理センター 宛
(022)-344-3140

※修理品をお送りいただく際には、31ページの保証書
に故障状況をご記入の上、必ず同梱してください。